

学校運営協議会 議事録

| | |
|-----|----------|
| 校名 | 府立吹田高等学校 |
| 校長名 | 守田 岳巳 |

| | |
|---------|--|
| 開催日時 | 令和5年2月17日(金) 15:00～16:30 |
| 開催場所 | 府立吹田高等学校 本館2階 会議室 |
| 出席者(委員) | 岡崎守夫会長、北波道子委員、池谷綱記委員、河合克子委員 |
| 出席者(学校) | 守田岳巳校長、飯田卓教頭、湯木貞博事務長、加藤靖之首席、小澤靖典首席 |
| 傍聴者 | 0名 |
| 協議資料 | 令和4年度 学校経営計画及び学校評価 令和5年度 学校経営計画及び学校評価 |
| 備考 | |

議題等(次第順)

- ・令和4年度学校経営計画及び学校評価について
- ・令和5年度学校経営計画について
- ・その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

○令和4年度学校経営計画及び学校評価について以下のとおり、質疑応答・意見交換を行った。

中期目標2. 関係
 質問:現役で関関同立にも合格しているし、合格者数も100名を超えている。今年は良い結果が出ていると思う。一浪とか二浪とかする生徒のその後の進路はどうなっているのか。
 回答:現在わかっている範囲でいうと、進学では大阪経済大学や大和大学等の4年制大学、就職でいうと市役所に合格したと報告があった。卒業後に公務員試験専門の学校に通い合格している。

中期目標1. 関係
 質問:遅刻が増えているが、コロナの影響で高校生だけでなく大学生も生活リズムが緩んでいる。実際、高校での生活はどんな感じなのか。
 回答:今年の卒業生は入学直後から休校が続き、コロナ禍での学校生活が大半をしめていた。本当にコロナの影響で学校へ決まった時間にくる等、できなかったことも多く、そういう普段当たり前にしていた指導がとても大事であることを改めて考えさせられた。家庭状況の影響ももちろんあると思うが、学校としてできることの限界を感じ、苦慮している。
 質問:令和5年度から合同部活動がはじまると聞いているが、具体的にどのような内容なのか。
 回答:教育庁からガイドラインがおりてきたばかりだが、その内容としては多くの部員がいる学校は単独校として、今まで通りだが、本校のように加入率が低い学校は近隣との学校と土日祝、長期休暇中に合同で活動する。生徒数の減少により、一校だけでは練習も難しくなっていることや、教員の多忙化への改善が目的である。必ず実施というわけではなく、そういった環境を作っていく段階である。ただ、学校間の移動のための自転車の管理等、色々と課題が出てくると思う。

中期目標3. 関係
 質問:LGBTQの生徒もいると思うが、保健室の養護教諭が相談・対応しているのか。
 回答:本校には養護教諭が2名いるので、基本的にはそうなる場合が多いと思うが、担任や教科担当の教員、信頼できる人なら誰にでも相談できる体制をとり情報を共有している。また、場合によってはSCやSSWにつないで専門的な立場に相談を受けてもらっている。
 質問:企業ではセクハラ・パワハラ相談窓口を位置づけられているが、学校にはあるのか。
 回答:LGBTQに特化している窓口はないが、学校にも生徒向けに体罰・セクハラ等の相談窓口は設置している。管理職、首席、養護教諭、人権担当教員で構成している。
 質問:その窓口の男女比はどうか。女性は少なくないか。
 回答:多いとは言えないが、必ず1人は入れており、女性を増やすことは意識している。学校全体の男女比からも女性率が低いことは課題である。
 質問:大学や中学にもヤングケアラーがいるが高校の状況はどうか。
 回答:本校にも兄弟の世話をしている等の生徒は複数名いる。現状として話を聞いてあげて状況の把握をしている。登校できないまでの深刻な状況の生徒はいないが今後そういう生徒が出てきたら時の対応に課題があると思う。SSWを活用して市役所の福祉部局と連携を深めていきたい。

中期目標1～4. 関係
 意見:全体的に自己評価が非常に厳しく感じた。様々な取組みをしている中でその成果としては十分に達成しているように感じる。

○令和5年度学校経営計画については1. めざす学校像、2. 中期的目標の承認を得た。

次回の会議日程

| | |
|----|-------------------|
| 日時 | 令和5年6～7月 |
| 会場 | 府立吹田高等学校 本館2階 会議室 |